

都川まちづくりセンターの新たな取組

事業名

広報誌の紙面拡大と内容の拡充

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- 都川の行事やまちづくり団体活動、センターサークル活動・地区の出来事等の様子を広報誌にたくさん載せることにより、地域に興味を持ってもらい、行事への参加者を増やし、地域の活性化を図る。
- 地域への要望や意見を募集し掲載することにより、地域の課題、解決の一助を担う。

D

事業の概要

- A4用紙から、A3用紙に変更し、情報掲載量を増やす。
- 1か月の行事予定表を掲載し、センターの活動を知ってもらおうと共に利用の促進を図る。
- 都川の出来事や、行事、お知らせなどを紹介する。
- 写真やイラスト掲載を増やし、様子が分かりやすく伝わるようにする。
- 「読んでみようかな」と思える記事づくり、見出しにする。
- 両面印刷のため、裏の印刷が表に映り、記事が見えにくくなるので、紙の厚さを変える。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
				○					

上記評価の理由

「広報誌読んだよ!」と、声をかけてもらい、行事予定を見て行ってみようかな、やってみようかなと思う気持ちを持ってもらえ、行事への参加者が増えた。しめ飾り教室は昨年5人から今年度は10人に増えた。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- 地域の方の声をより多く聴き、広報誌に反映する。
- 活動に参加し、意見を直接聞くことにより、具体的な記事を書く。
- 同じような記事にならない様、変化を意識し、読みやすい広報誌にしたり、行事終了後の振り返りの内容を掲載し次の活動に活かしたりする。

